

第13回日本禁煙科学会学術総会 in愛知 より

NPO法人禁煙ねっと石川
理事 横山明美

第13回日本禁煙科学会学術総会in愛知が10月27、28日の2日間、名古屋市の愛知県女性総合センター(ウィルあいち)で開催され、禁煙ねっと石川から遠藤理事長と福田副理事長、北畑友美さんと共に、4名が参加しました。

会場は全国からの361名の参加者で賑わい、講演や各分科会でのセミナー、シンポジウムと、様々な演題の発表があり、大変参考になりました。

総会会長の名古屋大学大学院の室原豊明先生からは循環器医師の視点から、2020年の東京オリンピックに向けての受動喫煙防止の重要性や、電子加熱式タバコ問題等、日本の喫煙環境改善に向け、夫々の立場からアクションを起こす議論の重要性が提起されました。



遠藤理事長は「成人式アンケート結果と受動喫煙防止法案に関する石川県の取り組み」に付いて、小学生での喫煙防止教育の有効性と、受動喫煙防止対策における石川県の現状と行政への早期取り組みへの要望の申入れなどに付いて発表され、又、分科会の座長も務められました。

北畑友美さんと私は「6ヒューマンニーズを用いた喫煙者へのカウンセリング実践」と題し、喫煙がどのようなニーズを満たし、本来の自分のニーズを満たす手段ではない事を客観視する事によって、健康的な気分転換方法へとシフトできるアプローチの有効性について看護研究を実践し、結果を発表しました。

愛知県(三河)出身の徳川家康公は日本で最初に「禁煙令」を發布した領主であるそうです。当時74歳と長寿であった徳川家康公の健康嗜好を談義しながら、終始暖かい雰囲気での学会でした。



室原会長、高橋裕子先生と

